

事務事業評価表 平成22年度

政策 政策の総合推進
 施策 施策の総合推進その5
 基本事業 施策の総合推進その5

事業名 **市政功労者等表彰事業**

[0589]

部名	総務部	事業開始年度	- 年度	実施計画事業認定	非対象
課名	総務課	事業終了年度	- 年度	会計区分	一般会計

事務事業の目的と成果	
対象	<p>(誰、何に対して事業を行うのか)</p> <p>市民</p>
意図	<p>(この事業によって対象をどのような状態にしたいのか)</p> <p>市政功労者・功績者等の表彰を行うことにより、事績を広く紹介し、市勢の振興と経済、社会、文化等の発展に対する市民の意識の高揚を図る。</p>
手段	<p>(事務事業の内容、やり方、手段)</p> <p>市勢の振興発展に尽力し、また、市の経済、社会、文化等の興隆に寄与し、その功績が顕著な者を表彰する。 市政功労者表彰、市政功績者表彰(江別市表彰条例) 社会貢献賞、産業貢献賞、文化貢献賞、特別ほづ賞(江別市顕彰規則)</p>

事業量・コスト指標の推移						
区分		単位	19年度実績	20年度実績	21年度実績	22年度当初
対象指標1	市民	人	123,537	123,054	122,538	122,568
対象指標2						
活動指標1	市政功労者・功績者として表彰した人数	人	4	1	2	4
活動指標2	社会貢献賞、産業貢献賞、文化貢献賞、特別ほづ賞の表彰をした人数及び団体数	人	3	8	7	4
成果指標1	市政功労者・功績者として表彰した人数	人	4	1	2	4
成果指標2	社会貢献賞、産業貢献賞、文化貢献賞、特別ほづ賞の表彰をした人数及び団体数	人	3	8	7	4
単位コスト指標						
事業費計(A)		千円	784	604	760	918
正職員人件費(B)		千円	5,862	7,104	6,638	6,662
総事業費(A)+ (B)		千円	6,646	7,708	7,398	7,580

費用内訳	
21年度	報償費 286千円、需用費 475千円

事業を取り巻く環境変化

事業開始背景		事業を取り巻く環境変化	昭和36年度に表彰制度を制定して以来、江別市を取りまく社会経済状況も大きく変化してきており、市民が活躍し、功績をあげられる場も多様化している。表彰制度を運用するに当たっては、できる限り幅広く潜在候補者を調査するよう特に留意している。
--------	--	-------------	--

21年度の実績による事業課の評価（7月時点）

(1)税金を使って達成する目的（対象と意図）ですか？市の役割や守備範囲にあった目的ですか？

- 義務的事務事業
- 妥当である
- 妥当性が低い

理由・
根拠は？

市政功労者・功績者等を表彰することは、市勢の振興と経済、社会、文化等の発展に対する市民意識の向上につながっている。

(2)上位の基本事業への貢献度は大きいですか？

- 貢献度大きい
- 貢献度ふつう
- 貢献度小さい
- 基礎的事務事業

理由・
根拠は？

市政功労者・功績者等を表彰することは、市勢の振興と経済、社会、文化等の発展に対する市民意識の向上につながり、地域の活性化に寄与している。

(3)計画どおりに成果はあがっていますか？計画どおりに成果がでていない理由、でていない理由は何ですか？

- あがっている
- どちらかといえばあがっている
- あがらない

理由・
根拠は？

市勢の振興に寄与した人を市政功労者・功績者として表彰し、市民に対して周知することにより、市民の市政に対する意識付けが図られている。

(4)成果が向上する余地（可能性）は、ありますか？その理由は何ですか？

- 成果向上余地 大
- 成果向上余地 中
- 成果向上余地 小・なし

理由・
根拠は？

表彰制度を通して、市勢の振興や経済、社会、文化等の発展に対する市民意識の向上につなげようとするものであり、成果の向上余地は小さいと考える。

(5)現状の成果を落とさずにコスト（予算＋所要時間）を削減する新たな方法はありませんか？（受益者負担含む）

- ある
- ない

理由・
根拠は？

式典のあり方等、社会情勢との適合を考慮のうえ、表彰制度の運用を行なう